

清瀬 高等学校 令和8年度(2学年用) 教科 国語 科目 論理国語

教科: 国語 科目: 論理国語 単位数: 2 単位

対象学年組: 第2学年 1組~ 7組

使用教科書: ( 論理国語 )

教科 国語 の目標

【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを深めたりすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 論理国語 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	弱いつながら 【知識技能】 意味段落のまとまりを意識して読み、各段落の内容、および文章全体の構成をとらえる。 【思考力・判断力・表現力】 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容から読み取れる筆者の意図について粘り強く検討し、学習課題に沿って適切に説明する。	・意味段落のまとまりを意識して読み、各段落の内容、および文章全体の構成をとらえる。 ・筆者の言う「弱い絆」をつくるにはどうしたらよいか、自分の考えをまとめる。 ・文章の内容から読み取れる筆者の意図について粘り強く検討し、学習課題に沿って適切に説明する。 教材：『弱い絆』	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・文章の内容から読み取れる筆者の意図について粘り強く検討し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	○	○	○	6
	手の変幻 【知識技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。 【思考力・判断力・表現力】 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとする。	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。 ・文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						1
	具体と抽象 【知識及び技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりする。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容に適した具体例を粘り強く検討し、学習課題に沿って適切に説明しようとする。	・言葉の性質についての筆者の考えを読み取る。 ・筆者の主張を踏まえ、事物を抽象的にとらえることの利点があることと具体的な事例を日常生活の中から考える。 教材：『「具体」から「抽象」へ』 『「内的成長」社会へ』	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・文章の内容に適した具体例を粘り強く検討し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	○	○	○	12
定期考査						1	
2 学 期	近代と現代の視点 【知識及び技能】 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとする。	・「科学」について書かれた二つの文章の内容と表現の共通点と相違点を読み取る。 ・科学における「権威主義」について理解する。 教材：『科学の現場・科学と生命』 『〈近代〉の入口と出口の間』	・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 ・文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査					1	
	言葉と思考 【知識及び技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的な文章の内容をもとに自分の考えをまとめ、文章構成や論理展開を工夫して自分の意見を論述する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとする。	・筆者が言葉の使い方について「論理的」「非論理的」と表現する内容を理解する。 ・筆者が提示する問題点を踏まえつつ、具体例とともに自分の意見を論述する。 教材：『日本語は非論理的か』 『偶然とは何か』	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論理的な文章の内容をもとに自分の考えをまとめ、文章構成や論理展開を工夫して自分の意見を論述している。 ・課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	○	○	○	12
	定期考査						1

